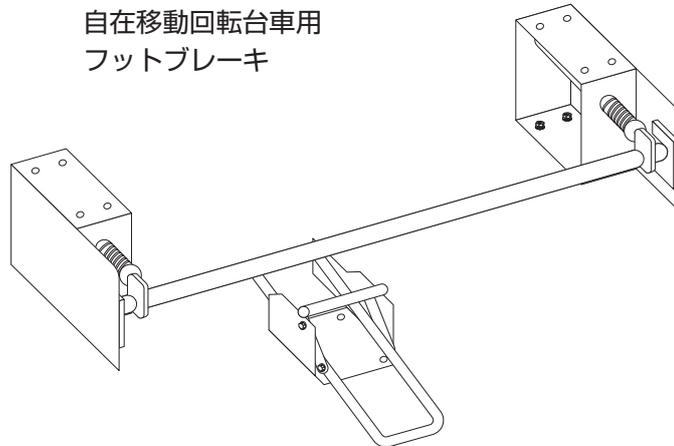


このたびは、オプションフットブレーキ(自在移動回転台車用)をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

自在移動回転台車用
フットブレーキ



積載荷重は、製品の耐荷重の範囲内にして下さい。それ以上載せたり、荷重が片寄りますと製品破損の恐れがあります。
※「均等の耐荷重」とは、棚板の表面、または引出しの中に均一に荷重をかけた場合に、耐えられる重さの合計量をいいます。

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や、他の人への危険や財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただく内容を次の要領で説明しています。

警告

誤った使いかたをすると「死亡または重症などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。

- 耐荷重以上の荷物を置かない。
台車が傾いたり、本体が曲がったりして危険です。
- 後ろ向きで引かない
台車に足をひっかけたり、荷物の下敷きになるおそれがあります。
- 不安定な場所に置かない。
台車が倒れたり、荷物が落下して、けがをするおそれがあります。

注意

誤った使いかたをすると「損傷または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

- 足をかけたり、よじのぼったりしない。
転倒したり、本体が破損したり、足を滑らせて、けがをするおそれがあります
- 屋外や水のかかる場所で使用しない。また、ぬれたものを置かない。
台車が腐食し、倒壊するおそれがあります。商品がぬれた場合は必ず乾いたやわらかい布で拭きとってください。
- 傾斜地では使用しない。
台車が暴走して転倒したり、人や物に当たり、けがや破損するおそれがあります。
- 移動時は、台車が傾かないよう、ゆっくり運ぶ。
荷物が落ちたりして、けがをするおそれがあります。
- 高温になった物を乗せたり、火気の近くに置かない。
やけど、火災の原因になったり、変色、変形の原因になります。
- 取付けビスがゆるんだり、外れたままで使用しない。
収納物の落下などにより、けがをするおそれがあります。
- 子供の手の触れる場所に置かない。また、子供を近づけない。
台車に触れて倒れたりして、けがをするおそれがあります。また、連結部・内部の切断面、および収納物によって、指をけがするおそれもあります。
- 改造や無理な修理、分解はしない。
取付ミスなどにより、台車が不安定になり危険です。特別なご使用をされる場合は購入店へご相談下さい。
- 変形・破損したまま使用しない。
転倒・落下により、けがをするおそれがあります。
- キャストやアジャスター等は床面が汚れたり、跡形が残る場合があります。
- 消耗品には寿命があります。
キャスト部や可動部等に異常音等(損耗現象)が発生した場合購入店へご相談下さい。
- 直射日光の当たる所や温度・湿度の著しい所での使用は避けて下さい。
変色や変形の原因となります。

部品明細

番号	品名	個数	品番
①	ペダル固定板	LR各1	R-11FB
②	フットブレーキ	1	
③	十字穴付六角ボルト (平座金・パネ座金付) M8×18L	12	
④	キャスター当てパイプ	2	
⑤	圧縮バネ	2	
⑥	六角ボルト M8×45L	2	
⑦	六角ナット M8×20L	※2	
⑧	六角ナット M8	※4	

※台車設定がφ125・φ130キャスターの場合⑥六角ボルトが2個、台車設定がφ150キャスターの場合⑦六角ナットが2個余ります

組み立てるまえに

梱包内容がすべて揃っているか、ご確認ください。
※万一不足の部品があった場合は、すぐに購入先へお知らせください。

※枕木を2本ご用意ください。組み立てが容易になり、製品や床への傷つきを軽減します。

※組み立て時は、必ず軍手等の保護具を着用してください。

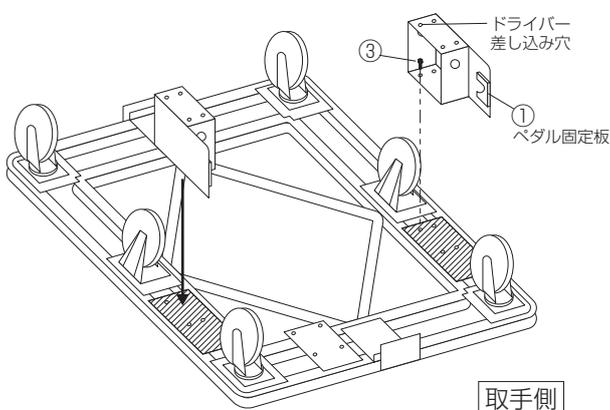
組み立てかた

■ひずみなく製品を組み立てるために

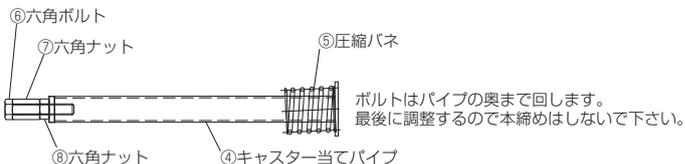
- 組み立て時は、ネジを軽く締めておきます。
- 完成後水平な場所に製品を立て、ひずみの矯正をしてから、ボルトを強く締めつけます。

【フットブレーキ取付け方法】 自在移動回転台車用

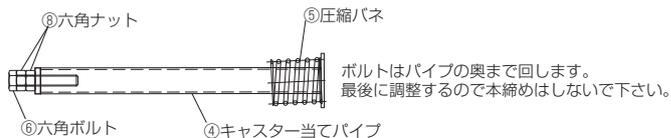
- ① 台車本体が傷つかないようにダンボールの上等に裏返して置きます。※斜線部のプレート位置が図の向きになるように置きます。図の様に斜線部の位置に①ペダル固定板をセットし③十字穴付六角ボルトで仮止めします。図の様に④キャスター当てパイプに⑥六角ボルトと六角ナットを取付けます。



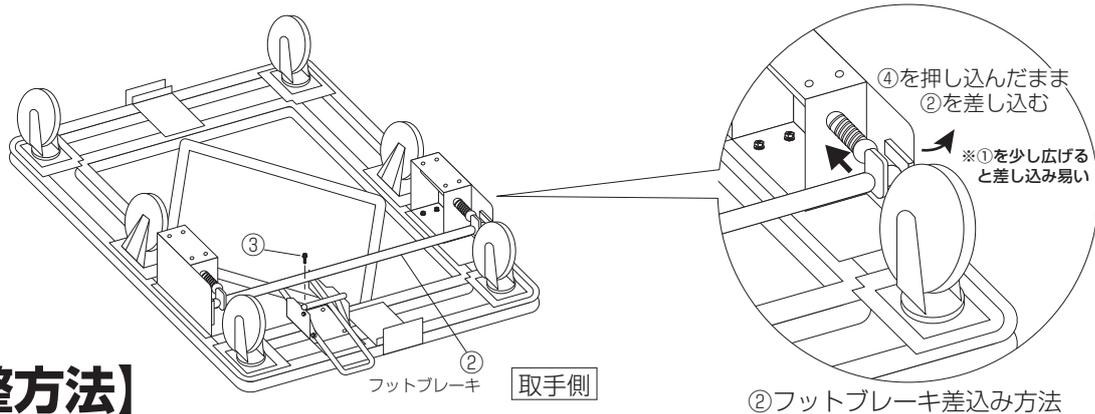
【φ125・φ130キャスターの場合】



【φ150キャスターの場合】

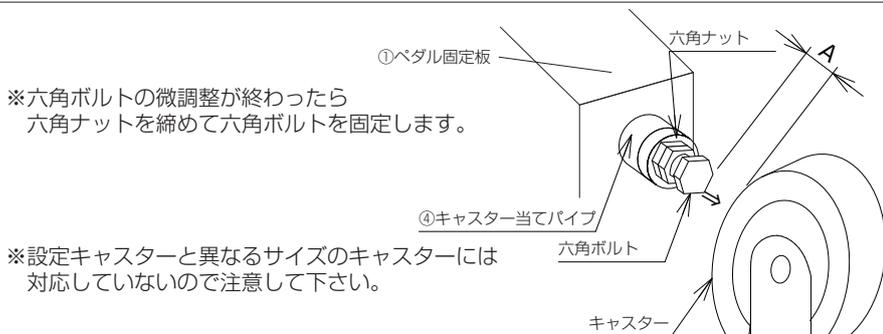


- ② ⑤圧縮バネをセットした状態の④キャスター当てパイプを①ペダル固定板に差し込みます。④キャスター当てパイプを押し込んだ状態のまま、②フットブレーキのパイプ部を下図の様に差し込みます。(※左右共)その後、②フットブレーキを③十字穴付六角ボルトで仮止めします。フットブレーキが回転することを確認した後、①ペダル固定板を内側に寄せて②フットブレーキのパイプが落ちないように調整し、①ペダル固定板と②フットブレーキを本締めします。



【ブレーキ調整方法】

- ③ ブレーキ解除時の状態にて、A寸法が下記の表寸法と同じになる様に調整します。A寸法を調整した後、ブレーキ時キャスターが回転しなければ調整完了です。六角ナットを本締めして六角ボルトを固定します。台車を起こせば完成です。
※キャスターが回転するときは六角ボルトを半回転ずつ伸ばし、A寸法を縮めて下さい。ブレーキ時キャスターが回らない事を確認後、台車を起こせば完成です。



		A寸法の目安(mm)
品名	品番	キャスター種類
		ゴム車
自在移動回転台車用フットブレーキ	R-11FB	2ミリ